

本当の自分をみつめて

盛岡市立山王小学校 六六年

山田 明希

もしも私がユースケだったら、どうしていいだろうか。きっと、私は、ユースケのように勇気を出して、「大川ユースケになりたいくない」とは言えずに、本当の自分ではなく、大川ユースケとして人生を送ることになっていただろう。もし、他の人たちもユースケだったら、勇気を出して、本当の自分を失わず

にいられただろうか。

この本のテーマは、「本当の自分」だと思う。なぜなら、ユースケが大川ユースケに近づこうと頑張れば頑張るほど、「本当の自分」は失われていき、大川ユースケになってしまっただろう。そして、この話は、ユースケにとっても、本当の自分を見つける旅でもあったのではないか、と思っただからだ。

私は、ユースケが大川ユースケにどんどん近づいていて、本当の自分ではなく、大川

ユースケとして人生を送ることにならなくて
本当に良かったし、正しい判断だったと思う。
もし、あのままユースケが大川ユースケにな
っていたら、上の町の希望の星となっていた
だろう。でも、それが大きな大きな重荷とな
り、いつかたえられなくなってしまうと思う。
そして、自分の意志を他の人に伝えられない
人間になってしまっただろう。

ユースケが正しい判断をできたのには、ミ
キさんや天野タイチのおかげでもあると私は

思う。もちろん、「大川ユースケになりたく
ない」と言ったのはユースケだ。でも、

「小川ユースケくん、がんばるのもいいけど、
大川ユースケになるのをやめる勇気も必要
だよ。」

「ユースケさんになろうとしてるおめえより、
はじめのころの小川ユースケのほうが好き
だな。」

というこの二つの言葉が、ユースケをはげま
し、支え、勇気をくれたからだと思っただけ

私はこの本から自分がこうなりたいと
思う人に近づくために努力するのももちろ
ん大事だけど、本当の自分を見つける、自分
のよさを見つけるということも大事だと学ん
だ。ユースケはこの話、「本当の自分を見つ
ける旅」で、自分のよさを発見できたと思う。
だから、私も、自分のよさを見つけて、大事
にしながらも、なりたいと思う人に近づける
ように努力したい。これは、小さなことかも
しれない。でも、とても生きていく上で大事

なことだと私は思う。

この本は、ユースケと自分を重なり合わせ
てみると、本当の自分が見えてくる本でもあ
ると思う。私も、ユースケと重なり合わせて
みると、意外と勇気がない人間かもしれない。
と思った。私はどんな人間だろうか。もう一
度見つめ直してみたいと思う。色々なことを
学べて、考えさせられた、不思議でおもしろ
いこの本、ふたりユースケは、いつまで
も私の心の中に残りそうだ。